

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所リーノ2		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用しているお子さんの特徴をしっかりとらえて職員間で共有し、それを踏まえたきめ細かい個別の支援計画を作成し、活動に反映させている。	常に職員間で情報を共有して、統一した支援になるように心掛けている。	職員それぞれが我流にならないように、それぞれのお子さんの特徴をしっかりとらえて共有し、それぞれのお子さんに合った支援を行っていく。
2	1日学校で過ごしてきたことも配慮し、余暇的な楽しみの要素を入れた活動内容を仕組んでいる。内容はバリエーションに富んでいる。長期休みの支援については、余暇の要素と普段はあまり経験できないような社会経験につながる内容の活動も実施している。このようなことがご本人の満足度にもつながっているのではと考える。	内容が毎回同じにならないように、お子さん達の様子をしっかりと踏まえつつ、楽しくかつねらいを持った活動内容になるように検討を重ねている。	ただ楽しいだけの活動にならないように、ねらいを持った活動内容にしていくために、職員全員でアイデア出しを行っていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学校高学年以上のお子さんも在籍しており、体格も大きくなって子が何人もいて、事業所のスペースが、日によっては狭く感じてしまうことがある。	事業所は賃貸物件でもあり、容易に空間の変更が出来ないことと、お子さんが成長されて体格が大きくなり、数年運営しているなかで相対的に課題が生じてきている。	お子さんの様子もとらえつつ、屋外の活動も組み合わせながら、過度に密にならない工夫をしている。
2	保護者のみなさんが交流できるような企画を行うことがないところ。	毎年学習会などの企画をして、その時に交流が図れるようにと対応してきたが、親御さんの交流が限定的であり、しっかりと交流を図るという面では不十分であったように感じている。	親御さんに交流に関するアンケート等を実施し、ニーズを把握したうえで、どのような企画を行っていくことが良いかを検討する。
3			